

82.11.30 発行

No 47

あごら札幌 連絡先

細田英理子

☎ 644-2927

通信担当

久須美 房子

☎ 702-8718

今月のなかみ

11月例会報告	運営委員会から..... P5
パネルディスカッション... P1	今、"生命"は集会記... P6
12.4集会準備会から... P3	かいた通信号外より... P7
千代さんを囲む会おしらせ〜 P3	
アメリカの女性たちは今 P4	催し物案内..... P8
教科書行動委から	
参加・協力要請... P5	12月例会案内

11月例会報告 ～ 12.4集会にむけて

Part I パネルディスカッション

報告1. 「またも優生保護法、国会に上程」 細田 英理子・高橋 芳恵

≡改正案のあらましと背景≡

いくつかのポイントがあるが、現在認められている経済的理由による中絶を、経済大国日本にふさわしくない、そんな理由で、胎児の生命がなくなってしまうことか。現在の、生命軽視の風潮 ～ ホテル・ニュージャパン、家庭内暴力 ～ につながっている、昔は Sex-狂死- 出産が結婚とワンセットだったのに、性の乱れ、家制度の崩壊に導いた女性解放

— それと、安易に中絶できる法律が支えられた。とし、この条項を削ろうというもの。

＝なぜ反対するのか＝

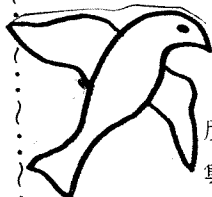
100%安全・確実な避妊法もなく、働き続けなければ暮せないので、出産と中絶の存在、保育所

戦争への道を許さない女たちの札幌集会

●とき / 12月4日(土) 1:30PM ●ところ / 婦人文化センター

●主催 / あごら札幌 ●会場カンパ / 500円 ●託児付

連絡先(託児申し込み先) / 細田 (644-2927) 今村 (683-9594)



斎藤千代さんは、この夏ニューヨークでの国連軍縮総会に反核の署名を持って行って来ました。空前の百万人反核軍縮集会になりました。その時の様子を写したスライドも上映します。いま、とてもとても大事な時代です。ひとりでも多く参加をして欲しいと思います。



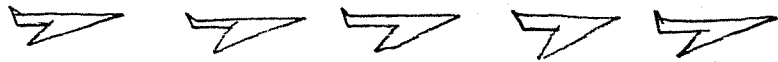
の不備や、男の育見への参加意識の低さ etc. 産んで働きつけられない、産めない社会的背景の目玉は、中絶が良いことなどとはいいないか、最後の手段として残さずにはいけない... 10代の性非行は、中絶を困難にすれば減るものではない。性を売りにする風潮の中で、満足な性教育——妊娠、体のしくみについての知識も、異性との関わり方、生き方といった面について——のないまま、法律で「けがえ?も傷つく人間のふえ?ゆくと」け...

⇒どんな動きがあるのか =

生長の家などが、「このこの命を」のようなCM、連日の国会陳情、百万人署名など、全と人力にモノいわせ? 運動をすすめている。今後に対して、82'傷生保護法改悪阻止連絡会ができたか...

⇒討論から、何をいってらいいのか =

法律が変えられたら、どんな恐いことになるのか、話をきけば納得でき、反対はうと思うか、ちよつと「胎児の生命の尊重」ときくと、可へ? 良いことのように感じ?しまう。反対派の署名用紙で、「産む産まないは女の権利」と、エゴイスタリックな感じをうける、かえって反感を感じ?はったりする。まづ「みんなに、何が起きようとしているのかを伝え?ゆくこと、を、広く、みんなを巻きこめる形で、運動してゆきたい。



報告2. 「日米安保体制の変遷」 細谷 洋子

米への基地従属中心だったオ1次安保体制、日本の一定の軍事責任、日米経済関係が前面に押し出されたオ2次。今? アジア・太平洋に至る防衛責任、単なる軍事政治体制に比べ?らる。経済・文化・エネルギー・食糧・教育など全分野を含んだ「資本主義危機管理体制集約」としてのオ3次——総合安保体制——

生産力の向上 = 生活の向上 として、人々と企業の体制にくみこみ 物質的繁栄の中に見えなかつた矛盾・不満が、高度成長からの先望めたいようになつて、くま?り出しかねない。今を、現在の生活を守る → 家庭を守る → 企業を守る → 社会秩序を守る → 産業を守る → 資源・エネルギーの補給を守る → 海上輸送路を守る → 外敵の侵入から国を守る というように 視点をずらさせ?ゆく。有事立法といわれる一連の法律案など?に?て、いざおにかあつたとき、の国内治安維持のためのもの。

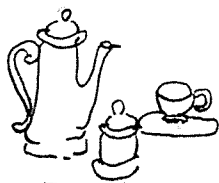
報告3. 「最近の政治の動き」 (新聞報道から) 中山 和夫



自衛隊予算のGNP比論議など、数字マジック、ことは"のり"かえによる、事実と見誤まらされるような操作が行なわれ?ている。刻々と変わる情勢に、正しい監視の眼を、

討論から

～身近なところで～



有事立法というわけでは、地震対策法など、早くにその目を、転用できる。コミュニティセンターの運営のように、自主制、民主管理のようではないか。組みこまれようたり、とか、足元から可能な管理をせよ、と。～私たちの平和運力～



。あれだけ多くの人参加し盛りあがりながら実効力を果たしているのは？ 反安保、反原発というように争点を具体的にしほり込めな「あいまいさ」が参加しやうい理由だったと共に、よゆさもある。

国運におおかけする。って感じ？。 自国政府が正反対の方向向いていることにはおかしなところ……

資源が乏しい、足りなくなる。あふたりのというわけでは、エネルギー政策構造をその目、自分の生活レベルをその目？ 1131131122も石炭

の棲閣。一度上げた生活レベルは下げるとはむずかしい。今の生活水準を守りたい。って気が持た利用される。昔の天皇陛下の御為に、か生活を守る、にたっている。

性について考えられたか、家庭を守る、イコール企業を守る、では決まらぬこと。気をつけたいと寄りかえられよう。

Part II 12.4 集会準備会からの報告

当日の体制、チケット販売状況について報告、打合せが行なわれました。より多くの参加を呼びかけましょう。



千代さんと国を会のお知らせ

。講演会のおと会場を変えて話し合いの分やあごらについて想うことなどじっくり話し合いを致します。大勢の御参加をお待ちします。

日時 12月4日 PM 5:00
場所 「つぼ羊」 南5条西5丁目
Tel 531-5378

参加費 3500円 (アルコール、夕食付)

申し込み先 今村 (Tel 683-9594)

11月末迄御連絡下さい。

東急イン	ヨークマツザカヤ	↑至札幌駅
つぼ羊 ↓	書店	↓すすきの通

アメリカの女性たちは今

ビデオ・講演・フィルム・ディスカッションを通して
働く女性を考えるセミナーに
参加して、考えたこと、感じたこと

11月2日、アメリカン・センターにて、アメリカ・テキサス州ダラス市事務助役のカミール・バーネット女史を講師に、婦人文化センター館長の小野寺奈緒美さんを司会に迎えて、働く女性を考えるセミナーが催されました。

午後5時半からという開会時間で、1時間も遅刻してしまい、ビデオと女史の講演の前半は聞き逃してしまいましたか。

“The Vanishing Mommy”というフィルムと、その後のディスカッションは、私自身が抱えている問題に重なる部分が多く、興味深いものでした。

— 伝統的な母親像というのは確実に消えつつある。ほとんどの母親が仕事を持つようになって、もう十数年もしたら、情緒不安定な大人が大量に社会に出てくるのではないかという心理学者の危惧が冒頭に語られ、しかし、カメラは様々な分野で多様な職種で働く母親たちの姿を追いつつながら、向いかける。

“子どもに対するうしろめたさがないと言えは”嘘になります。でも、働いていない自分は考えられないし、傍にバツリいることか、子どもにプラスになるとも思えない……”

ことさら、耳新しいことたえてはあ



りませんが、インタビューの向も手を休めず、黙々と働き続ける母親たちの姿が強く印象に残りました。

・ 女の役割が変われば、男

の役割も確実に変わります。

画面には、赤ん坊をあやす父親や子どもの朝食を作る父親の姿も出てきましたか、いずれもごく自然にはまっているのは感動的ですね。

既存の心理学が、かつて多数派ではなかった働く母親たちとその子どもたちの関係を肯定的に捉えられないのは、そうしたデータを持たないことによる壁なのではないか、働く母親たちとその連れ合い、子どもたちが、心理学にも影響を与えていくのではないかと思います。

最後に、女史自身、子どもをもてないのはのびやかに自己を生きているとはいえないのではないかという質問に、たえて、“自ら多く犠牲をはらって行く人々が社会を変えていく力となる。個々の行動を通じて、真の社会変革がおこると、実にサバサバとした明かすまで”語った女史には、状況を切り拓いていく逞しさを感じさせられました。

ERA(男女平等憲法修正案)は、今回は実現しなかったか、近い将来必ず実現するという力強い女史の言葉は、時に遅々とした歩みにみえても、確実に変わりつつある社会を反映していたのだと思います。
(細谷 洋子・記)

パネラーのひとり、いちご会の小山内美智子さんは、話しをされる前に、女性たちがたくさん居てとてもうれしい、とひとこと。

函館のYWCA 星野花枝さん、釧路、母と女教師の会の柴田節子さん、あごら「女と戦争」にも、手記を寄せて下さった野幌教会の中嶋静江さん、そして水俣から石牟礼道子さん。5人のパネラーは各々に自らの立場から、かつての戦争を告発し、今を生き、そしてこれからの方向を示唆していました。

星野さんは、核に象徴される今の人間の文化、文明への疑問をするどく指摘し、また、原発反対のデモにはじめて出た時の印象を「奇異」ということばで語られた。デモ隊が機動隊とたぶってみえたとも……。ひとりひとりの顔がみえないのではないか、ひとりの人間としての感覚を大事にしたい。「私は雑木林が好き、人間の集団も雑木林でありたい。」、草の根はひとりひとりの運動です。

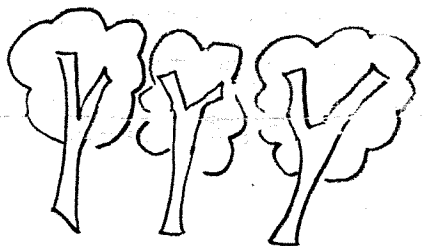
柴田さんは所属する会の事にふれて女性差別、女性解放の視点も語られていました。長く運動を続けてこられた熱い思いがことばの端はしにうかがわれました。私がハツと思ったのは「すべての運動は、戦争に反対することにはじまる。」と言われた事です。そうだ、これが根っこなんだと、私の内にあるもやもやがはれていくように思われました。



中嶋さんは、頭髮が真白、私の母の世代でいらっしゃる。まさしく戦争のただ中を生きてこられ、おつれあいはフィリピンで戦死された。そのかけがえのない人の死さえも「夫の死は犬死であった。」と語らなければならぬ心境は、いかばかりかと思われまます。「自分の夫が靖国にまつられているとわかった時は、背中が冷たくなる程びっくりした。キリスト者である夫の名前をぬいて欲しい。」と語っていました。そして「現憲法は、血であがなってできた憲法である。」と。

小山内さんは両手がまったく使えません。私は最近、ある会で小山内さんを知り、集りの後でみんなで喫茶店に寄って話しをしました。となりに座った彼女はカレーライスを食べました。私はスプーンで食べさせたのですが、タイミングがうまくつかめないのです。口の中に入れたスプーンを歯でかむと（筋肉を自由に動かさない？からか）うまくとることができません。ひや汗をかきながらの食事でした。このような日常に生きている小山内さんが語ることばは、しかし以外といや私などよりよほど解放されて生きている人のことばでした。あの明るさは、くったくのなさはどこからくるのだろう。私はその後彼女と何回か接しましたが本当におどろいてしまいます。彼女のまわりに笑いがたえない、この集会の時も笑いが渦まきました。そして笑いとともに感動がわきあがってくる。腰をすえて生きている人間の放つ魅力がそこには在る。

石牟礼道子さんは、とても若々しい方でした。水俣のことばで、そのやわらかい語り口がかえって水俣の地獄をほうふつとさせる。「水俣の患者さんは、文字のない世界に住んでいる。」その文字のない世界の人には「親=先祖」とか「くに=日本」は、子供たちを慈しみ育てると思っている。からだのことを訴えたくて「くに=東京」へ行ってみたけど、そこにはくにはなかった、くにのこころはなかった。と言って嘆いていたと言う。「くにのこころ」はいつくしみそだてるものであって、愛国心の名のもとに人を殺したり、殺されたりする世界とはあいられないものと私も思います。



(カノ藤 いてい子・記)

臨調の狂気

婦人保護事業の全滅

一〇月一二日付の毎日新聞が、第一頁の冒頭で特報した所によると、

臨時行政調査会第三部会は国庫からの補助金等の無駄を整理するために一九件の項目をかがげ、そのなかに「婦人保護費」をいれたという。

これは飛んでもない謬見で、将来の日本にとって極めて危険な決断であることを知っての上であらうか？

もし、売春防止法も一応の目的を果した——と見るのならば、近視眼も甚しい。神代以来おんなならでは夜の明けぬ日本に、最近四〇〇年デーンと栄えた公娼制度を、明治以来の先覚者が、文字どおり血を流して叩きつぶしてから、まだ四半世紀。形を交え名を偽り難ってくる社会病を根絶するには、また百年はかかるというものを、ここで補助打切りとは、どういふ見か？

いかに日本経済が左前とはいえ、最低点の汚濁をぬぐへば紙一枚ないはずはない。

葉書いちまいを

ケチしないで、いまず、男も女も老人も子供も、かならず

〒230 横浜市鶴見区北寺尾五ノ二ノ四

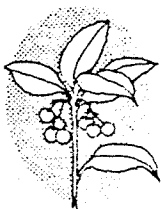
土光 敏 夫 様あて

婦人保護費廃止をなさらないようにお願いして下さい。

カンパに御協力を

この論戦を張るために、印刷物等を作成しなければなりません。カンパに御協力下さい。また、この運動を押し進めるつえの印刷費等でお困りの方は、当方まで御相談下さい。カンパを有効に用いましょう。

294 千葉県館山市大賀五九四



かたにた通信」号外より

かたにた後援会 ☎(〇四七〇)三二一三三八〇

11月24日(木)

「北海道優生保護法改悪阻止
連絡会発足」

当面、学習と署名活動を
展開していきます。
道議会にも請願書を出
します。

PM 7:00 ~

「ひらひら」(741-2801)

12月4日

「戦争への道を許さない
私たちの札幌集会」

あいら札幌

〜くわしくは表紙を〜

12月5日

「反安保連発講座」

12月

催し物案内

12月3・4日(金・土)

「みろりとオーサ」

上映会

障害者が地域で生きることを実践する
札幌115分会 小川内美智子さんと、同
いく車イスでたくましく生きるスウェーデ
ン女性オーサの出会い……

AM 10:30 PM 1:30, 3:30, 6:30.

朝日ホール (N2W1, 281-2131)

大人 800円 (当日1000円)

小中学生 300円 (当日400円)

学生 700円.

老人 700円 (65才以上)

介護者 400円

12月20日(月)

映画上映会

「PLO激闘とパレスチナ人
虐殺との間」

「スペインの短い夏」

PM 6:00, 7:30 2回上映

教育文化会館 3F

中研修室

800円 (当日1000円)

向いあひむ

エルフィンランド(夜)

231-9775.

12月例会案内

• とき 12月13日(月) 6:30 PM

• ところ 1F (511-1377)

※ 今年1年をふりかえって ※

今年もあますところあと1ヶ月ちょっとです。今年をふりかえり、
明日に向けてまた味1歩です。ケーキなどもです。